



ねらいの見直しを通して

成果

- 集団での授業のねらいを見直すための視点として「感覚と運動の高次化理論」を適用した。
- 個のねらいやが学習活動を「発達系統表」に照らし、一般化させることで、学習集団としてのねらいを焦点化・具体化することができた。
- ねらいの根拠を説明することができる。

他の授業場面への波及効果も…

結果

「課題関連図」と作業学習がつながった！



その3

まとめです！

「桐が丘L字型構造」と
「感覚と運動の高次化理論」
の活用